

ふるさと納税について問う

新たな歳入に期待する



小野 光夫 議員

政府は東京一極集中で過疎などによる税収減に悩む地方自治体に、格差是正となる納税制度構想を示し、今年6月から実施した。これを受けて鹿児島県も取り組みを始めた。このことについての所感を問う。

好意的に
受け止める

町長

税収格差是正の決定的な解決策になり得ないまでも、自主財源に乏しい地方にとり、新たな歳入の確保の一つと捉え、この制度については好意的に受け止めている。

県との協議について

小野議員

5月29日、鹿児島県寄付金募集推進協議会が県内49市町村とともに結成された。その内容を問う。

県市町村が
一体となって実施する

町長

県が窓口になって、県外在住者を対象に募集活動を展開する。また、協議会の規約や活動方針の説明と寄付配分、4割を県、6割を市町村とすることを承認をした。

本町の取り組みを問う

小野議員

県内各市町村も個々に条例をつくり取り組んでいるが、本町も積極的に条例をつくり取り組むべきである。

環境・スポーツ・
教育に活用

町長

県は、県外在住の出身者に募集を行い、市町村

は協議会に必要な情報提供を行う。本町は、関東、近畿大崎会等に情報提供し、一般寄付として受け取り、それぞれの財源として活用したい。

知事と語る会について

小野議員

「知事と語る会」が4月21日開催されたが、町民の参加は何名で、どのような印象を持ったか。

有意義な会であった

町長

概ね400名の参加があり、参加者から大変活発な意見や質問、要望等があり所期の目的は達成されたと思う。

合併問題の
知事の見解は

小野議員

県は伊藤知事の下、市町村合併が加速されたが、最近知事は消極的発言をされる。本町は市

村合併問題については、県内でも早くから協議を行い紆余曲折の中、住民の意向、議会で2度の合併推進決議をし、今日に至っている。公式文書で早急に申し込まなければ新合併法の下では無理と思うがどう考えるか。

合併を目指し
努力していく

町長

知事の発言はマスコミ等で話題になったが自主

的合併を前提として私に与えられた使命であり議会の協力をいただき志布志市との合併に努力していく。公式文書については、改めて議会の議決をしていただき、それから次の段階だと捉えております。

暫定税率問題が
与えた影響は

小野議員

3月暫定税率が失効し5月に復活した。本町の税収、事業にどのような影響があったのか。復活したので早急に工事発注して欲しい。

工事発注など控えた

町長

暫定税率が5月に復活したので工事の発注を再開した。本町への影響は560万の税収減と思われる。



大崎町で開催された「知事と語る会」